

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和6年度 決算額(千円)	令和7年度 予算額(千円)	種別	
	①	みやざきグリーン農業技術現場実装加速化事業	農業の適正使用を推進するため、県内農産物の残留農薬分析を促進	6,634	6,800	補助金
	②	植物防疫強化対策事業	常務理事を配置し、植物防疫行政の補完的業務を担う同センターの運営強化を図る。	5,245	5,245	補助金
	③					
	④					
	⑤					

実施事業	①農畜水産物及び食品の受託分析及び受託研究に関する事業 ②宮崎県の農畜水産物及び食品関連産業の発展に資する事業
------	--

活動指標	指標名	算式(単位)	令和6年度			令和7年度	令和8年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
①	残留農薬分析受託件数	(件)	740.0	712.0	96.2%	730.0	750.0
②	機能性成分分析受託件数	(件)	100.0	119.0	119.0%	150.0	160.0
③							
指標の設定に関する留意事項							

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)				貸借対照表 (千円)			
	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	39,222	42,777	44,706	資産	9,795	11,227	73,586	
	35,068	40,622	45,279	流動資産	9,463	11,028	10,626	
	4,154	2,155	-572	固定資産	332	199	62,959	
	0	0	0	負債	1,257	534	506	
	0	0	0	流動負債	1,257	534	506	
	0	0	0	固定負債	0	0	0	
	4,154	2,155	-572	正味財産	8,538	10,693	73,080	
	4,384	8,538	10,693	指定正味財産	0	0	0	
	8,538	10,693	10,121	(うち基本財産への充当額)	0	0	0	
	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0	
	0	0	0	一般正味財産	8,538	10,693	73,080	
	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	0	0	0	
	8,538	10,693	10,121	(うち特定資産への充当額)	0	0	0	

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和6年度			令和7年度	令和8年度
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
①		県補助金/当期収入計 × 100 (%)	31.0	26.5	114.5%	31.0	30.0
	※ 令和6年度 実績値の算式	11,879千円/44,704千円					
②							
	※ 令和6年度 実績値の算式						
③							
	※ 令和6年度 実績値の算式						
指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	公社等 自己評価	<p>当センターは、最新の分析技術による残留農薬や機能性成分の受託分析によって、本県農産物の付加価値向上や輸出促進等に貢献している。ニーズに応じた分析メニューの拡大や、訪問営業による新規開拓、ホームページの改良や学会・マスコミの活用などにより、年々、受託数は増加しているところだが、令和6年度は、人件費等の管理費の増加や、主力品目の収穫減により、事業利益がマイナスとなった。経営安定には、受託件数の増加が必要であるため、センターの強みである迅速分析技術等、さらに県内外にPRし、知名度向上を図りたい。また、企業や大学との共同研究による特許の取得や、BRIDGE事業に参画による食の効果を予測・診断するシステム開発など、当センターでしか行えない分析メニューを実装することで、他分析機関との差別化を行いたい。</p>				県所管部課 二次評価	<p>当該センターは県産農畜水産物の安全性の確保や分析に基づく付加価値の向上など、県内農畜水産業者並びに食品関連事業者等に貢献することが期待される。活動内容では、輸出拡大や機能性表示に必要な分析成分拡大等のニーズへの対応による受託件数の増加や、関係者と連携した財務状況の改善に係る短期及び中長期的な経営戦略の検討、外部資金の獲得等に取り組みされているところではあるが、令和6年度においては事業利益がマイナスとなるなど、依然として経営面では不安定な部分がある。</p> <p>今回、新たに活動指標とした機能性成分分析は、近年受託数が伸びており、ある程度の需要が見込めることから、残留農薬分析と並ぶ事業の柱として期待したい。</p> <p>今後も、安定的な経営に向け、ターゲットを絞った依頼者への営業、他の分析機関との明確な差別化、分析料金の改定等の検討が必要である。</p>			
	<small>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)</small>	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	<small>評価 (A:良好、B:ほぼ良好、C:やや課題あり、D:課題多い)</small>	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
	目標 達成度	B	A	C	A	B	A	C	C	B

